

# クリスマス特別献金のお願い

主にある皆様へ

「神にとって不可能なことは一つもありません」ルカ福音書 1 章 37 節

この一年間も、皆様の祈りと支援に支えられましたことを心から感謝を申し上げます。とりわけ幸いなクリスマスを迎え、御教会においてなされるすべての取り組みが文字通り神の不思議の御業となりますようお祈りいたします。

「いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされた」がゆえに、私達は確かな神様の存在と、ご自身の救いのご計画を知る者となりました。そしてこの神の救いのご計画を知らせる伝道者、また教会を建て上げる牧会者を育成するために、先達はこの東北の地に神学校を建てられました。そして創立 40 周年を過ぎて、21 世紀の神学教育の在り方を根本から見直し、神学教育・次世代育成におけるパラダイム転換、C-BTE：教会主体の神学教育・次世代育成へと決断し、今に至ります。

主の宣教大命令に応えることにおいていささかも揺るぎはなかったと思います。しかし福音の確かさを確認するキリスト者、クリスチャン家族、成熟した指導者、地域に祝福をもたらす神の家族：教会が地域の繁栄に寄与・貢献する存在としての建て上げが必ずしも聖書の意図を実現するものではなかったことを、自分たちの反省を含め、気づかせられました。

私達は、1970 年来、欧米のキリスト教界の核心的問題にすでに気づき取り組み始めていたビルドインターナショナルの協力を得て、再度聖書に立ち返って、これまでの神学のパラダイムを検証し、聖書の意図を明確にする聖書神学からキリストと使徒達の基本原則を明らかにし、さらにキリストと使徒達の手法を通して非聖書的概念である個人主義から脱したクリスチャン共同体、奥義としての教会建て上げに取り組みはじめました。さらに教会に対する神のヴィジョンを明らかに描き、主の宣教大命令に応じていく教会ネットワークを築いていきます。その取り組みの中で主の賜物を見出し学習者主体の次世代育成に取り組みます。5 年前、東日本大震災を通して、摂理の中で立たされた支援活動の中で、改めて描き直していた神の救いのご計画を明確に理解し、確信する神の摂理的な機会となりました。

中でも本校の主要な目的である次世代指導者育成のための教会主体の育成プログラム「C-BTE アンテオケスクール」の普及に努めます。是非、本校の取り組む神学教育に基づく主の宣教大命令を共有いただき、また実証する教会として力となっていただければと願っています。

迎える新年も御教会における主の大いなる御業と祝福をお祈りいたします。

2016 年 12 月 待降節

## C-BTE 仙台バプテスト神学校

校長 森谷正志 理事長 川崎 満  
理事一同 伊藤一寿、栗田義裕、高橋清、  
中野正義、R.フレミング

### ■ 神学校会計の現状 ■

- ①運営費 16 年度予算 943 万円のうち、**580 万円が献金収入**で満たされることを願っています。また、**累積赤字約 170 万円**のできるだけ早い解消を願っています。
- ②設備・補修基金 施設の経年劣化による補修・交換などが必要な箇所が多くなっており、今後さらなる出費が予想されます。

・・・教会を建て上げる神学教育の継続のため、ご協力をお願いいたします。・・・

●献金いただく際には、郵便振替または銀行振込をご利用ください。

- ・郵便振替「仙台バプテスト神学校」02290-1-7271
- ・銀行振込 ゆうちょ銀行 二二九店 当座 0007271

●それぞれの課題に応じたご支援は、内訳として「C-BTE 基金指定」「補修基金指定」「図書基金指定」等と明記ください。ご指定のない献金はすべて運営費にあてさせていただきます。